小5理科 もののとけ方 No.5

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 ろ過したあとの液（ろ液）に、温度を変えずに同じ物質をさらに加えても溶けないのはなぜですか。

- ○ ろ過したことで物質がすべて消えてしまったから
- ○ ろ過したときに液の温度が上がったから
- ○ ろ紙を通るときに水がすべて吸い取られたから
- ○ すでに物質が溶ける限度の量まで溶けているから

問2 ろうとにはめて使い、水溶液の中にある粒をこし分けるために使う紙は何ですか。

- ○ ろ紙
- ○ 折り紙
- ○ リトマス紙
- ○ 薬包紙

問3 水溶液を熱して水をじょう発させるときに、水溶液を入れるために使う皿の名前は何ですか。

- ○ 薬さじ
- ○ じょう発皿
- ○ ペトリ皿
- ○ ビーカー

問4 ものの重さをはかるために使う道具で、使う前に何も載せていないときの表示を「0g」にするものはどれですか。

- ○ 電子てんびん
- ○ メスシリンダー
- ○ じょうご
- ○ 温度計

問5 水よう液の色の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 色がついているものも、ついていないものもある。
- ○ すべての色が、必ず白か黒のどちらかになる。
- ○ すべて透明で、色がついているものは絶対にない。
- ○ すべて色がついているが、透明なものは絶対にない。

問6 上皿てんびんを使ってものの重さをはかるときに、皿にのせて使う決まった重さのおもりを何といいますか。

- ○ スポイト
- ○ 薬包紙
- ○ ビーカー
- ○ 分銅

問7 水に混ざっている、液に溶けていない粒を、ろ紙を使ってこし分けることで、液体と固体に取り出す方法を何といいますか。

- ○ 蒸発
- ○ ろ過
- ○ 結露
- ○ 溶解

問8 水の温度を高くしたとき、食塩が水にとける量はどのように変化しますか。

- ○ 温度が高くなると減る
- ○ 急激にたくさん増える
- ○ わずかしか増えない
- ○ まったく変化しない

問9 「食塩が水に溶けた水溶液」のことを何といいますか。

- ○ 食塩水
- ○ 炭酸水
- ○ 砂糖水
- ○ 石灰水

問10 ろ過という方法を使って、液体と固体に分けることができるのは、どのようなものですか。

- ○ 完全に液に溶けて透明になっているもの
- ○ 液に溶けていない粒が混ざっているもの
- ○ 熱を加えるとすぐに気体になるもの
- ○ 冷やすとすぐに凍って固まるもの

問11 物質が水にすべて溶けて、全体が一様にすき通った液体のことを何といいますか。

- ○ 泥水
- ○ 水溶液
- ○ とけのこり
- ○ 水蒸気

問12 ものが水にとけた液のことを何といいますか。

- ○ 水そう
- ○ 水てき
- ○ 水よう液
- ○ 水じょう気

問13 50mL（ミリリットル）の水の重さは、何g（グラム）ですか。

- ○ 5g
- ○ 50g
- ○ 500g
- ○ 5000g

問14 水溶液から結晶を取り出す方法として、正しいものはどれですか。

- ○ 水溶液の水を蒸発させる。
- ○ 水溶液をろ紙でこす。
- ○ 水溶液に水をたくさん加える。
- ○ 水溶液をストローでかき混ぜる。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう